

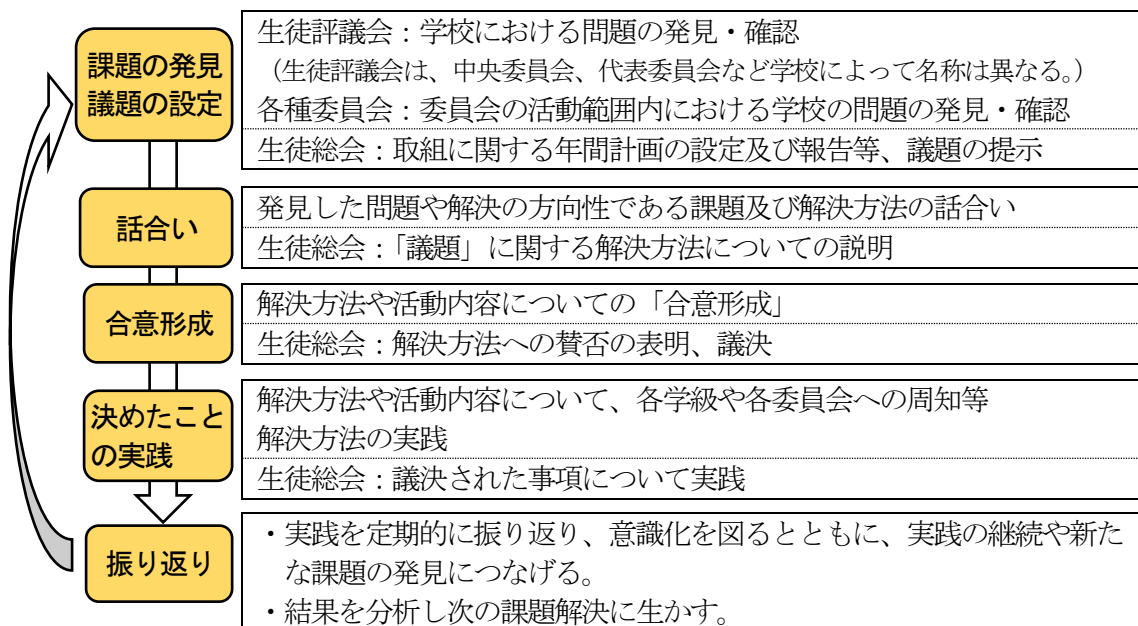
**Q3：生徒会活動において、生徒の主体的な活動を活性化させるためのポイントを教えてください。**

A： 生徒会活動は、全校の生徒をもって組織する生徒会において、学校における自分たちの生活の充実・発展や学校生活の改善・向上を目指すために、生徒の立場から自発的、自治的に行われる活動である。また、異年齢の生徒同士で協力したり、よりよく交流したり、協働して目標の実現をしたりしようとする活動でもある。

学校生活上の諸問題から課題を見だし、その解決に向けて取り組む際に、生徒の自主性、自発性をできるだけ尊重し、生徒が自ら活動の計画を立て、生徒がそれぞれの役割を分担し、協力し合って集団活動を進められるよう、教師が適切に指導することが大切である。

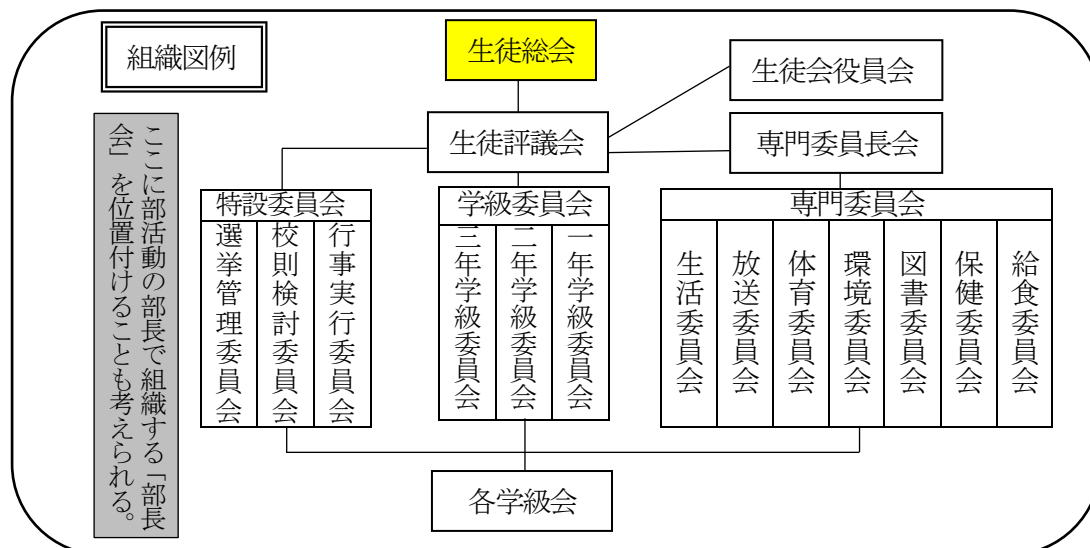
以下に、生徒会活動を活性化させるための具体的なポイントを示す。

**1 生徒会活動における基本的な学習過程**



**2 生徒会組織**

全校生徒という大きな集団で話し合い、合意形成し、実践していくためには組織作りがとても重要になる。生徒会における組織等については、各学校の生徒の実態や特色をもって設置するものであり、一般的には、生徒全員で話し合いを行う「生徒総会」を置くとともに、「生徒評議会（中央委員会など）」といった審議機関、「生徒会役員会（生徒会執行部など）」や各種の「委員会（常設・特設委員会など）」の組織から構成することが考えられる。下の組織図等を生徒に示すことで、自分と生徒会とのつながりを意識させ、生徒会の一員であることの自覚を促すことも大切である。



### 3 生徒会活動の活性化を図るための指導のポイント

特別活動の方法原理は「なすことによって学ぶ」ということである。したがって生徒会活動も、課題を解決するために話し合い、合意形成し、実践することで学びにつなげる。その上で「自分たちの力で学校（学級）がよりよくなった」という実感をもたせることができると活性化が期待できる。

#### ポイント1 生徒の発意や発想を生かす。

生徒は「自分の考えが集団の総意で決定し、実現した」という体験をすることで活動意欲が高まる。集団討議の際に「どんな活動をすると、更に楽しく豊かな学校生活になるか」と問いかけるなどして、生徒の発意や発想を引き出すように指導することが大切である。

#### ポイント2 生徒一人一人が活躍できる場や機会を意図的、計画的に設定する。

指導計画立案の際に、生徒一人一人のよさや持ち味が発揮される場や機会を設定する。それにより、生徒は自己有用感や達成感を味わうことができ、活動意欲の高揚につながる。大切なことは、教師が「どの場面で生徒を活躍させられるだろうか」という視点を意識することである。

#### ポイント3 自己評価や相互評価、第三者による評価をする場を設定する。

活動後には、自分の活動の成果や互いの活動の感想を述べたり書いたりする振り返りの場を積極的に設定し、評価を行う。そして、教師が価値付けをしながら次の課題を明示することで、生徒一人一人の活動意欲や自覚が高まる。価値付けには、生徒の感想や保護者や地域の人々からの賞賛の声を生徒に返すことも有効である。

#### ポイント4 生徒の身近な問題について、学級活動で問題解決に向けた話し合い活動を行う。

活動意欲の向上を図るためには、生徒の身近な問題を取り上げることが有効である。また、学級活動との関連を図ることで各学級の意識も高まり、学校文化としての生徒会活動の活性化が期待できる。校内の身近な問題を拾い上げて学級活動で話し合い、各種委員会や生徒評議会、部長会等に活動を広げていく。さらに、社会に参画する態度を養うことができる生徒会活動であるので、生徒の活動範囲を校内から地域に広げることで活動意欲を高めることが期待できる。

### 4 生徒会活動における自治的な活動の留意点

自治的な活動とは、集団としての意思を決定し、集団で実現していく活動である。ただし、あくまで教員の適切な指導を前提とした、その範囲内での自治であり、制限があることも指導する必要がある。つまり、生徒が発意したことは何でも行ってよいという訳ではないことに留意してほしい。

<自治的な活動を超える内容例>

- ・個人情報やプライバシーに関わること
  - ・相手を傷付ける結果が予想されること
  - ・教育課程に関わること
  - ・校則の見直し、施設や設備の管理に関わること など
- ※校則の見直しなどは、教員が適切に関わり、最終的に生徒と校長の面談を実施するなど工夫して実施することが考えられる。

生徒会活動を活性化させるためには、生徒一人一人が生徒会の一員であることを自覚することが大切である。生徒会役員や各種委員長だけが活躍したり、例年通り実施したりするのではなく、一人一人が「自分のこと」として生徒会活動を考えられるように工夫する必要がある。そして、諸問題を解決するための自発的、自治的な活動を通して自己有用感や達成感を味わわせ、将来、地域社会の自治的な活動の中で生かすことのできる資質・能力を涵養することが望まれる。

#### 【参考資料】

- ・「指導資料『学校・学級文化を創る特別活動（中学校編）』
- ・「中学校学習指導要領解説特別活動編」

H28.3 国研  
H29.7 文科省